

図書委員会からのお知らせ

一学期より、図書室が静かに賑わっていて、うれしい限りです。けれど、昨年度同様、生徒貸出し冊数が一人当たり1冊程度となっています。もっと本を読みましょう。図書館にGo!!

2019上半期(第61回) 芥川賞・直木賞 発表



芥川賞

『むらさきのスカートの女』

今村夏子 著

近所に住む「むらさきのスカートの女」と呼ばれる女性が気になって仕方のないわたしは、彼女と「ともだち」になるために、自分と同じ職場で彼女が働きだすよう誘導する。『あひる』『星の子』が芥川賞候補となった話題の著者による待望の最新作。



直木賞

『渦 妹背山婦女庭訓 魂結び』

大島真寿美 著

筆の先から墨がしたたる。やがて、わしが文字になって溶けていく—
虚実の渦を作り出した、もう一人の近松がいた。

(今回の図書館だよりを担当した3-1)
図書委員2人のおすすめ本



『砂漠』 伊坂幸太郎 著

名作を数多く生み出してきた伊坂幸太郎さんですが、あえて本書を挙げました。一見、ただの青春小説に見えますが、その実、社会という砂漠に放り出される若者に向けたメッセージが印象的な作品です。

さらにタイトルについて、後日談があり、それがとても素敵なので、あとがきもお楽しみください。

伊坂さんのファンも勧める隠れた名作です。

変哲もない日常だからこそ、実は愛おしいということに後になって気が付くものです。

自分もまだまだ若いつもりですが、特に学生の方は今を全力で楽しんでください。

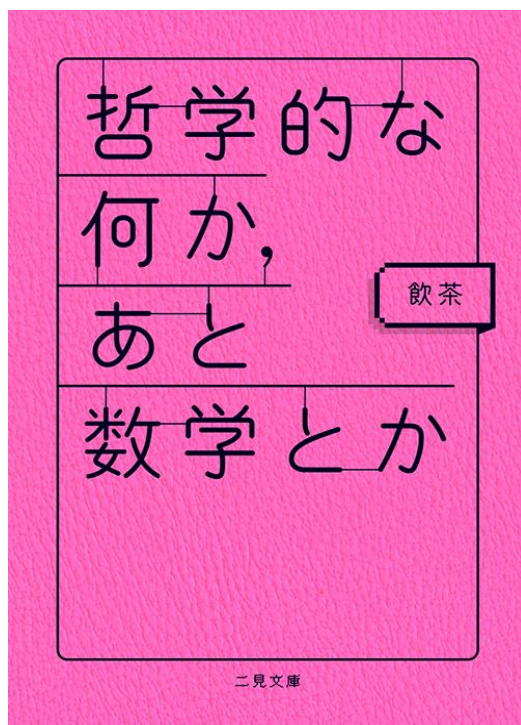


『神様の御用人』 浅葉 なつ 著

フリーターの萩原良彦は、ある日突然狐神から「御用人」を命じられる。御用人とは、神様たちの御用を聞いて回る人間のこと。膝を壊して野球の道を諦め、おまけに就職先まで失った良彦は、古事記やら民話やらに登場する神々に振り回されることになりながらも、神様たちの御用を解決していく作品です。図書室にあるのでぜひ読んでみてください。

山下峻平先生からのお薦め♡

『哲学的な何か、あと数学とか』 飲茶 著
数学にだって熱い血が通っている！
フェルマーの最終定理にまつわる話を通して、
知的探求者の情熱に触れよう！
数学が苦手な人でも、中身は読みやすくなります。



図書館にあります。
どうぞ、気軽に手にとって見
てください♡

昨年度末に転勤された田窪真弓先生からのお薦め♡

『自衛隊防災Book
危機管理のプロ直伝のテクニック100』
自衛隊防衛省 協力
いざというときに役立ちそうです。
気軽に読めます。

